

醒井養鱒場は、大小 80 余りの池にニジマスやイワナ・アマゴなどが泳ぎ、四季おりおりの風情が楽しめる観光施設であると同時に、「さかな学習館」や「ふれあい河川」を活用した魚とのふれあいを通じた環境教育や水産試験場の一部としてマス類の増養殖技術や河川放流技術に関する開発研究や県内の養殖業の振興と河川のマス類資源維持を図るための種卵種苗の生産供給の機能を担ってきた。

平成 25 年 4 月より、養殖ビワマスおよび県内河川に放流するためのマス類の種卵・種苗の生産供給事業、研修事業、観覧および施設管理の業務については、滋賀県漁業協同組合連合会を指定管理者とした県委託事業として実施し、その他養鱒事業(県外漁協や養殖業者への種苗供給等)については、当场施設を利用して指定管理者が自主事業として行っている。なお、マス類の増養殖技術の研究開発および河川漁協、養殖業者への普及指導業務は引続き水産試験場が行っている。

1. 入場者動向

総入場者数は、令和 4 年度に比べて 1,174 人増の 42,766 人であった。

入場者の推移										()は無料入場者の内数
年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
入場者数	61,728	60,674	54,040	53,378	50,071	49,418	45,214	46,945	46,923	47,409
	(5,123)	(5,324)	(4,670)	(4,369)	(4,662)	(14,247)	(13,683)	(15,572)	(16,547)	(15,161)
年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
入場者数	43,657	49,424	44,019	42,432	46,676	47,100	38,610	33,090	41,592	42,766
	(18,698)	(19,350)	(17,048)	(16,120)	(17,640)	(17,257)	(14,426)	(13,355)	(16,051)	(15,576)

注) 平成21年度の料金改定により、大人の入場料が値上となる一方で、小・中学生が無料となるなど、無料入場の対象が拡大された。